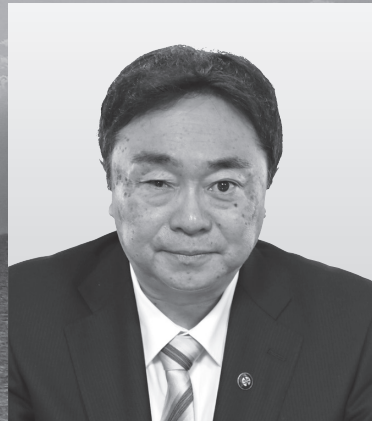


新年のごあいさつ



登別市議会議員
辻 弘之

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、お健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。
さて、改選期により新体制となった市議会ですが、無投票となったことは、住民自治の根幹たる議会のあり方を揺るがす事態とも言えます。現在、『これからの議会・議員に必要なことはなにか』をテーマに、市民皆様との意見交換会を実施しており、適正な定数のあり方を含め、将来にむけてあるべき議会を速やかに見出したいと考えております。皆様におかれましては、本年も引き続きさまざまなご意見を積極的にお寄せいただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。
また、これまでの議会改革に加え、『多様性のある議会』の実現に向けて、オンラインを活用した議会活動の充実強化や、地元中・高校生及び専門学校生への主権者教育に取り組んでおります。これらの活動は研究機関による議会改革度ランキングで、全国1位と高いご評価をいただきました。今後はさらに、議員の『見える化』に向けた情報共有の推進、議論を深めていくことで、住民自治を体現した議会として、登別の未来づくりにご貢献できるように、議員一同まい進してまいります。
結びに、市民の皆様にとりまして、本年もご健勝で明るく、幸せに満ちあふれた実り多き年となりますことを心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



登別市長
小笠原 春一

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまが、つつがなく新年を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ移行となり、観光を基幹産業とする本市にとっては、アフターコロナの第一歩を踏み出した一年でございました。
折よく昨年オープンした『登別市観光交流センターヌプル』は、登別観光の新たなアイコンとなる存在となりました。また今後、エレベーター新設も含めた登別駅の改修、そして道道登別停車場線の無電柱化事業も走りだすことで、登別駅周辺はヌプルとともに、国際観光レクリエーション都市の玄関口としてよりふさわしい姿へ進化しております。
新しい年におきましては、いよいよ新市役所本庁舎の建設が始まります。昨年までと同様、進捗状況の情報発信に努めながら、新庁舎が機能的で魅力に富み、皆さまの新たな憩いの場となるよう、令和8年度の供用開始に向け取り組んでまいります。
供用開始後、市民の皆様が誇りを持って、新庁舎を本市の新たなランドマークと認めていただけると幸いです。
結びになりますが、本年も市政全般に対する変わらぬご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。また、本年が皆さまにとりまして、幸多き年となりますことを心より祈念し、新年のごあいさつといたします。